

The Style-Dec2011

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

—里山スタイル—

—Contents—

- 1.style _____
福知山・鉄道交流フェスタ
- 2.style _____
鉄道の町、福知山
たんたん information
- 3.style _____
新しい公共として期待されるNPOに求められるもの
- 4.style _____
Others information
フォトピア講座の様様

福知山・鉄道交流フェスタ2011

～つながりを楽しみながら地域に新たな価値を生む～

鉄道と町との関わりについてどのような印象をもっていますか？日本の近代化を支え、今日の文明をつくってきた鉄道は大切な文化の一つ。

自身の住む「町」のことについて考える時、そこに住む「人」を知り、その町の「文化」をつなぎ、ひきだしていくことは町の重要な財産となるはずで



- ・日 時 平成23年12月11日(日) 13時～16時30分
- ・場 所 福知山市武道館 1階 剣道場 (三段池公園内)
- ・入 場 料 無料
- ・主 催 NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク
- ・共 催 京都府中丹パートナーシップセンター

※詳細については当法人のHPをご覧ください。→<http://www.kyoto-tantan.net/>

◆概要

SL写真の展示や北丹鉄道のビデオ上映、フォトセッションを通じて、昭和から現在までの鉄道の歴史、鉄道の魅力を子供から大人まで幅広い世代に伝えます。パネルディスカッション(ステージセッション)では「～もしもKTRにSLが走ったら～」をテーマに鉄道OBの方々と会場が一体となって語り合い、地域にどのような効果をもたらすかなどを出し合うことで夢の実現につなげます。

- 鉄道写真の展示 鉄道OBの方から集めた貴重な写真の展示。(SL、福知山機関区など)
- 北丹鉄道のビデオ上映 SL、さよなら運転の映像など。
- フォトセッション 鉄道写真を見ながら鉄道OBの方に裏話、経験談を話してもらおう～
- パネルディスカッション もしもKTRにSLが走ったら・・・

◆たんたん information

- 福知山市「会計講座&交流会
～一年間の会計の流れを知ろう～
」
→(12月8日)13時30分～17時
場所:福知山総合庁舎 本館1F第1会議室
(福知山市篠尾新町1丁目)
・講師:細見税理士様(細見会計事務所)
一年間にやらなければならない会計事務・税
務処理などを、時系列に学びます。
・交流会では質疑応答の時間も設けます。

お問い合わせ・申込み先
中丹パートナーシップセンター
TEL0773-62-2500(担当:瀬野)

- 福知山市「新しい公共講座」
→(12月17日)13時30分～16
時30分
場所:福知山総合庁舎 本館1F第1会議室
(福知山市篠尾新町1丁目)
「NPO法改正と新寄付税制のポイントはこ
こ!」
「これからのNPOに求められる情報開
示、社会的認証とは?」

お問い合わせ・申込み先
NPO法人きょうとNPOセンター
TEL075-744-0944(担当:内田)

Railway style

鉄道の町、福知山

北近畿地域の交通の要所である福知山は国鉄時代から鉄道管理局、機関区が置かれた町として「鉄道の町」のイメージがある人も少なくないでしょう。全国で27か所あった管理局の中で県庁所在地でないのは福知山だけでした。そして、現在もJRの支社、電車基地が置かれ、重要な鉄道の拠点です。鉄道OBの方も数多くおられ、鉄道が町を支えているといっても過言ではありません。



福知山：鉄道と町の関わり

近年のモータリゼーション、路線の電化により機関区の廃止、運営の合理化が図られ、往年の鉄道の町のイメージが薄れつつある中、現在も交通の要所としての役割を担っています。都市雇用圏は13万人と北近畿最大です。国鉄時代は鉄道の発展と共に鉄道員の人員が増え、町の産業の振興にもつながってきました。それだけに鉄道関係者が身内に必ず1人はいるというくらい鉄道の存在は福知山の人のとって身近な存在だったのかもしれない。

80年代中頃にはようやく福知山線、山陰線も電化され、近代化の波が押し寄せてきました。しかし、その反面、町の象徴である福知山機関区は必要がなくなってしまい、新たな電車基地は大阪に新設することになりました。機関区で働く多くの雇用を抱えるこの町にとって見過ごせない話です。

そこで、夢の超特急と言われた新幹線の試運転の運転士をされ、夢を叶えてこられた桐村博之さんなど鉄道OBの方々が大阪の本部に掛け合い、「鉄道輸送の中核となる基地を舞台の中心である北近畿地区に置かないといけない。大阪に基地が出来れば、いずれ京阪神の輸送網に組み込まれ、赤字路線である福知山管内の鉄道網は放置されることになる」…と。



そして、この声が福知山に電車基地がつくられる要因となったそうです。それから26年経った今、北近畿地域に走る大半の電車が福知山を基地としており、福知山を中心として運用が生まれ、今まで通り利便性の高い環境が維持され、交通の要所になっています。この利便性の高さは町の発展に大きく寄与しています。そして機関区から電車区となった今も、鉄道の町としての役割を果たし続けています。

福知山は鉄道と町が共に発展してきた経緯があり、その文化、歴史を作ってきた人たちがいます。その人たちが大切にしてきた”もの”、誇り、情熱、信念、懐の深さ、そして福知山を想う気持ち……こんな想いをこれからも今の若い世代が受け継ぎ、さらに発展し続けるような福知山にできればと思います。そんな思いから12月11日に福知山・鉄道交流フェスタを開催します。現代の世の中で少なくなってきた熱い想いと誇りに鉄道OBの方々との交流を通じて触れてみてはいかがでしょうか?

※鉄道交流フェスタの詳細については当法人のHPをご覧ください。

→<http://www.kyoto-tantan.net/>

◆写真上段は福知山機関区、中段は桐村博之さん(鉄道OB)です。

NPOの質の高い活動が地域にイノベーションをもたらす。

NPOの事業を質の高いものにしていくために最も必要なものは、事業の中核を担うスタッフの能力・意欲であり、地域が抱える難題を解決していくにはそれぞれの知見、技量、経験などの高度な専門性を持つスタッフがNPOにとって重要です。しかし、NPOの件数に代表される労働環境の整備は、NPOの地域などに果たす役割や経済規模が大きくなっていくにもかかわらずさほど進んでいません。経済の全体に占めるNPOの経済規模が日本の数十倍、数百倍という地域もある欧米社会では、NPOの労働市場は無視できません。NPOは、様々な善意のサポートによってその活動を支えられているからこそ、行政や営利企業が取り組みにくい分野の事業を担うことができるという一面があり、安価にサービスを提供することが必要な事業もありますが、一般の企業と同様の事業を同一労働・同一賃金の原則を無視してまで安価で行うことには疑問があります。実際、行政がやれる公益的なサービスは3割でしかなく、地域が抱える課題や社会の仕組みが多様化する中、地域の抱える課題は山積しています。それらを解決していくにはNPOという存在はもはや不可欠で、しかも高度な専門性をもった人材が必要なのです。そしてそのためにはスタッフが安心して仕事に打ち込める労働環境の整備は必須ではないでしょうか。



今こそ求められる情報発信が地域と相互理解を深める協働への第一歩。

中丹地域でも各市からの指定管理を受けて施設の維持に関わっているNPOが多数あります。そしてその多くは非常に地域活動に熱心に取り組んでおられるところです。しかし必ずしも雇用環境が良い所ばかりではありません。

質の高い人材の確保・育成が望まれる中で、指定管理の更新を行う際、その事業内容や個別の取組を無視してコストのみを重視し、更に安い人件費で指定管理業者を決めようとしている現実もあるようです。地域経済を良くするにはまず雇用条件・労働環境を改善し、地域を良くしていこうという情熱にあふれた専門性の高い人材を確保・育成していく事が何より必要です。

事業の内容・成果を的確に評価し、それに見合った労働環境になっているのかなどの実態を十分に把握したうえで、課題解決のためにはどの事業者指定管理を受けさせるのか、あるいは事業を受託させるのかなどを決めるやり方に変革を求める時期が来ているのではないのでしょうか。

一方、NPO自身も自らの成果を市民や行政に示すための情報発信能力の向上と同時に、行政、市民、企業、大学等との相互理解と協働の必要性・重要性の理解を深めることが必要です。そのためには市民等に対する事業内容、実績の適切な情報発信とNPO同士の横のつながりが重要になってきます。

NPO法では、毎年度の「事業報告書等」の提出・開示・公開によって、市民の監視と参加促進を図ることになっています。しかし、事業報告書等の内容が広く市民に理解を得やすいものになっているとは言えない状況や、「活動実績などの情報発信こそが市民から理解を得るために有効なツールである」としての認識が、京都南部地域に比べ北部では希薄であることなどを考え合わせると、NPOが継続的に活動を行っていくためには自らがそれぞれ行う情報発信の力量を高めていくことがとても重要になってくるのではないのでしょうか。



地域活動をするなかで地域の仕組みや制度を変えるためには、地域の人と人を結び心の絆をつくるが必要不可欠だと感じています。

NPOは成果志向になりにくいいため、まだまだ補助金、助成金などに頼らなければならないところがあります。また、社会のNPOという組織への理解度はまだまだ乏しいのも事実であり、そのためには寄付金や活動資金、公的で得た資金に関するアカウンタビリティを果たすことが責務です。行政が実施している成果よりもNPOがより高い成果を挙げ、自立&自律していくためには個々のNPOが共に声を挙げて社会の認識と相互理解を深めていく活動が必要であり、そしてそのためのスキルが今こそ求められているのではないのでしょうか。

Others

Information

ホームページもご覧ください
記事以外にも様々な情報を掲載しています
<http://www.kyoto-tantan.net/>

◆ 賛助会員・寄付を募集しております。

賛助会員：(個人) 1口：1000円～
(団体) 1口：10000円～
寄付：1000円～

賛助会員と寄付の申し込み方法はホームページをご覧ください
→<http://www.kyoto-tantan.net/>
またお電話でも受け付けています。→TEL0773-45-3507 (平日9時～17時)
みなさまのご支援、ご協力よろしく申し上げます。

◆ たんたん・フォトピアカメラ講座&交流会の様様！

今回のカメラ講座はハイアマチュアカメラマンの大地洋次郎さんを講師に迎え、講座&交流会を開催しました。大地さんと参加者が持ち寄った写真を見比べながら、どういう写真が良く、または悪いのか、的確な講評で写欲の向上につながる説明が圧巻でした。

同じ場所、風景、時間で撮っているのになにかが違う。普段気づかなかったなんでもないものが素晴らしく見える。魅せ方で被写体の見方、視点が変わってしまうカメラは魔法のようなもの。

みなさんが地域にあるもので魔法をかけたいものありませんか？

この講座でスキルを磨き、カメラの持っている高い情報発信ツールを活かして町の再発見、PRにつなげてみてはいかがでしょうか。



編集後記

今回は12月に町と鉄道の関わりを特集しました。そして鉄道に携わり、福知山とまちに暮らす人のふるさとへの思いをクローズアップしました。私たちNPOでは里人たちを有機的に結び付け地域の振興につないでいきたいと考えています。

発行元：NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク
〒620-0052 福知山市昭和町77 谷本ビル1F
TEL&FAX (0773) 45-3507
Eメール：tantan@kyoto-tantan.net